

令和9年度 予算編成方針



自分らしく ハッピーにスモール(住もうる)タウン

.....

奈良県 三宅町

2026.10

目次

01 所信表明
町長メッセージ

02 予算編成方針
3つの軸とめざすまち

03 予算編成のポイント
Point 1～3 / 行政財政運営

04 政策予算のサイクル
総合戦略の最終年度

05 財政状況①
基金・財政指標の推移

06 財政状況②
決算額・不用額の推移

07 予算要求の留意点
8つのチェック項目

08 特に意識すること
新規事業・経費・計画策定

所信表明

問い続けよう、 私たちの未来のために

少子高齢化・人口減少が進むなかでも、すべての住民の幸せを高める政策を打ち出し続け、「賢い縮充のまちづくり」をめざします。10年、20年、30年後の三宅町のために今できることを一人ひとりが考え、予算で“可視化”します。

令和8年10月1日 三宅町長 森田 浩司

豊かさとは何か
幸せとは何か
真のWell-beingとは何か

これまでの“当たり前”を疑い、
三宅町にとって本当に必要なことを
事業化する

予算編成方針

誰もが自分らしく
幸せに暮らせるまち

住民のニーズを把握し、短期・中期・長期の三宅町を見据えた施策を立案・実施します。次の3つを軸に、失敗を恐れず挑戦する文化を対話から生み出し、「伴走者」として共創のまちづくりに取り組みます。

暮らしに
身近な施策

持続可能な
行政財政運営

人材の
育成

共創の
まちづくり

予算編成のポイント

① 暮らしに身近な施策

地域に飛び出し、一人ひとりのニーズを把握して住民に寄り添う。部署の垣根を越えて事業を実施し、相乗効果を生み出す。

② 持続可能な行政財政運営

骨太の方針を三宅町版にアップデート。物価・金利の動向も注視し、事業の最適化・財源確保・計画に基づく要求を徹底。

③ 人材の育成

対話を通じたチームづくりで組織力を高める。副町長による勉強会を新設し、研修・調査研究の時間と機会を確保・共有する。

Point 2 持続可能な行政財政運営

01

事業の 最適化

骨太の方針を三宅町版にアップデート
物価高騰・金利上昇を注視し、
適切な経費見込で要求。
経費や業務を減らす投資は積極的に。

02

財源の 確保

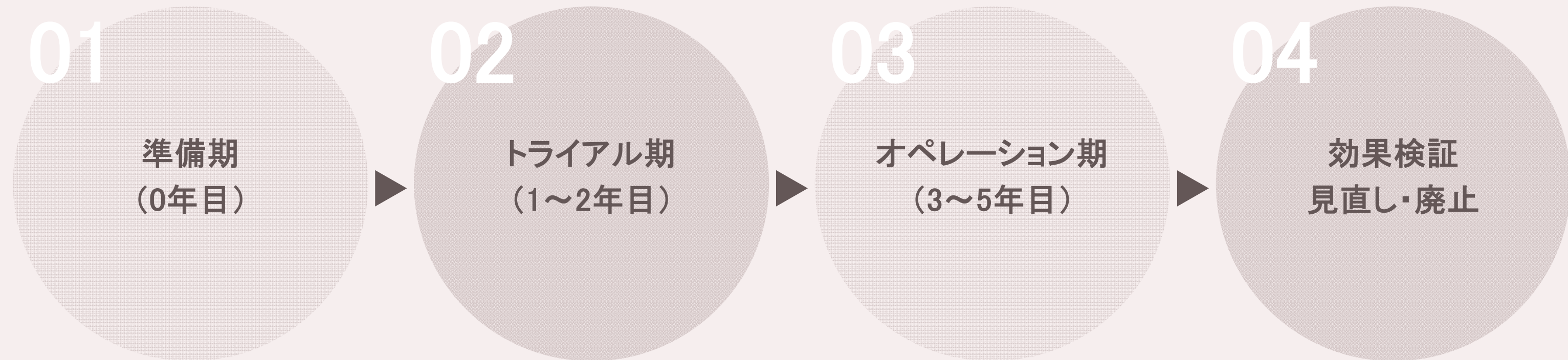
自主財源は限られている。
企業版ふるさと納税・特別交付税・
地域未来交付金などの活用を
係単位で浸透させる。

03

計画に基づく 予算要求

各種計画に基づく要求が原則。
現状に合わない計画は見直し、
理由を説明できるように。
策定・改訂時は住民との対話を必ず。

政策予算のサイクル



令和9年度は三宅町第2次総合戦略の最終年度にあたる「オペレーション期」。

真に必要な事業を見極め、限られた財源で最大限の効果を発揮できる予算を編成します。

既にオペレーション期の事業は効果を検証して継続の有無を議論し、見直し後は再び準備期へ。

